

2020 年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 20 日

1. 職名・氏名 教授 鄭 海東

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 京都大学、授与年月 1995 年 7 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等
経済の国際化と中国 (4 単位 隔年開講)	大学院 1・2 年生
② 内容・ねらい	
GATT/WTO 等の戦後の国際ルール of 枠組みを解説した上で、1980 年代以来の中国の対外開放政策の目標と結果を検討して、急速な経済の国際化が中国経済にもたらす影響を分析する。さらに、2018 年以降の中米経済戦争およびかつての日米貿易摩擦の事例を踏まえ、中心国・アメリカが世界経済の地殻変動に面した際の振る舞いを国際ルールの見地から検討することに力を入れる。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (令和 2 年度は受講生なし)	
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	
世界経済論(2 単位・毎年開講) 学部 2 年生	
②内容・ねらい	
まず国際金融と国際貿易の両側面から世界経済の基本的な形を概観する。それから、世界経済の動きの中で、重要な出来事などの動態を紹介・解説する。これらの歴史と現実の考察を通して、世界経済の見る目を養う。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
遠隔授業で学生の集中力を保つため、授業の時間を 50 分前後に短縮する代わりに、宿題を出すことを試みた。宿題は、授業の内容の復讐や関連知識の調べが中心であった。	
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	
演習Ⅰ・経済の国際化と中国 (4 単位 毎年開講) 3 年生	
②内容・ねらい	
急成長に伴う中国の世界における存在感が増大する中、中国経済が世界経済との関わり方、中国経済自身の問題点をより客観的に観察・分析する。	
学生の基礎学力と教育の必要性から、範囲は中国経済に限定せず、必要に応じて日本経済を含む世界経済の諸様相を話題に採り入れて学習・議論してもらう。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
学生の知識源の現状から、「世論」や「通念」と世の中の現実とのギャップをよく教えてくれるテキストを採用した。	
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	
演習Ⅱ・経済の国際化と中国 (4 単位 毎年開講) 4 年生	
②内容・ねらい	
中国は、如何なる改革・開放政策で高成長を可能にしたのか。また、この高成長の影で如何なる問題が進行しているのか、中国経済の将来をどう見るべきか、を議論し、中国経済の実態を知る。	
演習Ⅰでの学習を踏まえて、検討の対象を絞り、掘り下げて考察する。	
卒業論文の指導を行う。広く経済問題を考えてもらうため、卒業論文のテーマは、中国経済に限定しない。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (令和 2 年度は受講生なし)	

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読Ⅱ(2単位 毎年開講) 2年生
②内容・ねらい 中国語の経済・社会関連の文献を読むことを通して、語学と経済学さらに中国の歴史・文化や社会への理解を高める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 遠隔授業のため、いつもより授業がやりづらかったが、毎回発表者が画面共有による発表を行うため、以前より効果が良くなった面もあった。
(2) その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①著書
②学術論文（査読あり）
③その他論文（査読なし）
④学会発表等
⑤その他の公表実績
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 【学内】 経済学部・部局内競争的資金 申請理由：共著の出版助成（刊行予定：2021年3月） 申請金額：10万円
(3)特許等取得
(4)学会活動等

5. 地域・社会貢献活動

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開催 開放講座：「自由貿易のルールを考える」 場 所：鯖江高校

日 時：11 月 6 日
⑦その他

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
経済学部予算・研究委員会委員長 2020.4～現在に至る
経済・経営学研究科 教務委員 2020.4～現在に至る
(3)学内行事への参加
研究科のガイダンスを数回行った。
(4)その他、自発的活動など